

## 令和2年度第2回仙北市総合教育会議 会議録

開催日時 令和2年11月13日(金) 午前10時00分

開催場所 仙北市役所角館庁舎 西側庁舎2階 第3会議室

出席者

(構成員)

仙北市長	門 脇 光 浩
仙北市教育委員会教育長	熊 谷 徹
仙北市教育委員会教育長職務代理者	安 部 哲 男
仙北市教育委員会委員	坂 本 佐 穂
仙北市教育委員会委員	橋 本 勲
仙北市教育委員会委員	細 川 伸 也

(市長部局)

仙北市副市長	倉 橋 典 夫
総務部長	大 山 肇 浩
総務課長	藤 村 幸 子
総務課主事	小 林 佳 織

(教育委員会)

教育部長	佐 藤 義 一
教育次長	三 浦 政 喜
教育次長兼教育総務課長	朝 水 勝 巳

## 協議案件

### (1) 組織再編について

大山総務部長      おはようございます。ただいまから、令和2年度第2回仙北市総合教育会議を開催いたします。

はじめに、会議の主催者であります、門脇市長がごあいさつを申し上げます。

門脇市長      おはようございます。もう11月も後半に入ろうとしています、一旦収束しかけたと思っていた新型コロナウイルスの第3波、北海道の感染が大変心配です。この状況のままで今様々な国の制度等動いていますけれども、どうなのかということも、昨日も国会議員の皆さまも気にされておりました。子どもたちの学校生活にも影響をきたす事案にならなければよいなと思っておりますけれども、先般まで教育委員会の皆さまには、タブレット端末等での学校と家庭の子どもたちの連携事業をしっかりと行っていただけるという準備を進めていただいていることに、心から感謝を申し上げたいと思います。子どもたちは大活躍しているというふうに認識をしています。角館小学校のドリームハーモニーの子どもたちが全国出場というお話や神代中学校の野球部は全県3位ということで、少人数でこんなに素晴らしい成績を上げられたことにみんな驚いたというお話もお聞きしております。尾樽部こころさんの弁論の内容もとても良くて、一般の市民の方々にもぜひ聞かせて欲しい、そういう場面が欲しいというお話もいただいておりますので、何とか教育委員会の皆さまには、その点についてもタイミングを見計らって、何か市の事業と一緒に尾樽部さんをお呼びしてできればいいのかなというお話もお聞きしております。

こういったように日々刻々と情勢は変わっております。今仙北市もまさに刻々と変わっている情勢の中で、できる限り市民の方々の変化を体現していきながら、より良い道筋を見つける

というふうな日々の活動に努力していかなければいけないという状況があります。そういうこともあって、市役所も変わらなければいけないということで、市の行政の組織体の変化、職場の変化、様々な変化を市民の方々と共有して、まちづくりを共同していきたいと思います。その重要な部分が、総合教育会議の議論というふうに認識していますし、子どもたちが何よりも一番大切だという思いでありますので、どうかよろしく願い申し上げます。

大山総務部長 続いて、熊谷教育長からごあいさつをお願いいたします。

熊谷教育長 おはようございます。今市長の方からもございましたけれども、大変子どもたち色んな面で活躍しておりまして、私たち教育委員も嬉しく思っております。このあとも、例えば今プログラミングの方にも挑戦しており、色んな面で頑張っております。また色々な成果が出てくるのではないかなと期待しているところでもあります。学力のみならず、多方面で子どもたちの持っている力を発揮していければと思っているところでもあります。

さて、本日の案件は組織再編であります。これまでも教育委員会の中でもお話に出ています。正式な協議案件という形で皆さまと協議できればと思いますので、どうかよろしく願いしたいと思います。以上であります。

大山総務部長 ありがとうございます。それでは、協議案件に入ります。ただいま紹介にありましたとおり、本日の案件は「組織再編について」でございます。ここからの進行は、門脇市長からお願いいたします。

門脇市長 はい。先ほどお話に触れるのを失念しましたけれども、子どもたちの成長の姿を市民の方々が共有する場面づくり、とても

重要だというふうに思っていて、そういう面からいくとこの間まで行っていた芸術文化作品展の評価も色々聞いていて、ご難儀掛けたことでしたけれども、市民の方々や別から来た観光客の目にも触れたようで、こういうまちなのかというようなお話もいただきました。日常的にそういう場面があるというのはとても重要ではないかと思えます。今回は新型コロナウイルス対策ということで、実施していただいた経緯があったようですけれども、できる限りこのあとも続けていただければありがたいと思えます。よろしくお願ひします。

さて、協議案件に入りたいと思ひますが、本日の案件は「組織再編について」であります。このことについて、倉橋副市長から説明をお願いします。

倉橋副市長

おはようございます。今日の案件につきまして、私の方から資料に基づいて説明させていただきます。

合併してから15年が経過しまして、3町村が合併するにあたり色々課題がありましたけれども、やはりこれを機会に市役所のあり方も見直しをして、時代に即した市役所にしていかなければならないというふうに思っております。そのために、今新しい角館庁舎の建物は完成して引き渡しが終わっております。今備品の搬入等が進められていますけれども、11月29日に市民の皆さんの内覧会を予定しておりますので、ぜひご覧になっていただきたいと思ひます。そのあとそれぞれの部署で引っ越し作業をするわけですけれども、12月21日から開庁することになっております。それを見越して、前回の第1回総合教育会議でも皆さんにご報告しましたけれども、12月1日から新しい組織をスタートさせることになっております。また、今年度は就職氷河期世代の採用試験を行い、11月1日付けで採用となっております。112名の応募がありましたけれども、10名の方が採用となりまして、11月2日からそれぞれの部署で勤務しております。そうしたことを含めて、新しい

市役所づくりを進めていきたいと思いをします。

また、あわせてデジタル化を進めていくということも方針として決めておりまして、これは早急に色んなシステムの導入や角館庁舎ができたのを機会に3庁舎でリモート会議ができる仕組みを整備する予定でございます。これまでと違った市役所のあり方がスタートするというふうにご理解いただければと思います。そうしたことを念頭に、今日皆さんに資料に基づきましてご説明したいと思っております。

はじめに資料1です。組織再編については前にもお話しておりましたけれども、それぞれの地域センターを市民センターに名称を変えまして、より市民目線に立った市民センターにしていきたいと思っております。また、田沢湖と西木の市民センターには、新しく農林建設班という部署を設けまして、できるだけワンストップで様々な手続きができるようにしていきたいと思っております。観光文化スポーツ部を新たに新設しまして、これまで教育委員会の所管でありました文化財、スポーツ関係を市長部局に移します。文化創造課、文化財保護室、スポーツ振興課という名称で市長部局の直下になります。農林部には商工課を入れて産業全体の部分で、農林商工部がスタートします。教育委員会ですけれども、今度は教育総務課、学校教育課、生涯学習課の3課。西木庁舎に中央公民館を置きまして、公民館活動の集約を図って参りたいと思っております。以上が組織再編になりますけれども、令和2年12月1日からこの組織でスタートしますので、令和2年12月1日付けでこの組織再編に基づいた人事異動を行います。

次に資料2です。令和2年12月21日からスタートする新しい角館庁舎の配置図になっております。資料2の1枚目、上が正面玄関になっておりまして、正面出入口とありますが、そこから市民の方々が出入りすることになります。執務室は右側のスペースが全部になります。市民センターと市民福祉部がここに入ります。上から角館市民センター、市民生活課、保健課、

子育て推進課、長寿支援課、包括支援センター、社会福祉課が新しい角館庁舎の1階に入る予定です。また、角館市民センターの左上には、総合案内の窓口も設けられております。正面出入口からすぐ直結してエレベーターが配置されております。市民スペースもありまして、市民の皆さんに解放された場所となる予定です。101と102の会議室がありますけれども、101の会議室の側面に樺細工の展示が備え付けられてあり、角館工芸協同組合から買い取りしたものです。角館庁舎に行ったらご覧になっていただきたいと思います。資料2の2枚目、2階の配置図です。農業委員会、農林商工部の農業振興課、商工課、農林整備課、観光文化スポーツ部の観光課、交流デザイン課、文化創造課、文化財保護室、スポーツ振興課、建設部の建設課、上下水道課が入る予定となっております。これで事業部門の全てが角館庁舎の1階と2階に配属されることとなります。資料2の3枚目は西木庁舎の配置図となります。西木庁舎につきましては今改修工事が行われておりまして、3月いっぱいまで工事を終えて、4月1日からスタートしますけれども、教育委員会は2階の左側に配置される予定となっております。教育総務課、学校教育課、生涯学習課、北浦教育文化研究所、教育長室が入ります。1階の右下、現在西木総合開発センターのところに中央公民館が配置されます。西木庁舎の1階には、西木市民センター、(一社)田沢湖・角館観光協会西木支部、社会福祉法人はなさき仙北が入る予定となっております。現在農林部がある第2庁舎には、仙北市西木土地改良区と仙北東森林組合西木支所が入る予定となっております。また、1階の入口から右側のところには市民休憩室となっておりますけれども、子どもたちが遊べる場所として利用していただくことになっております。教育委員会が西木庁舎になるということは、教育委員会定例会は西木庁舎で行われるということでしょうか。

佐藤教育部長

基本的にはそうなるかと思われま。

倉橋副市長

わかりました。

資料3が角館庁舎の案内になっておりまして、表紙は庁舎の正面になっております。開いていただきますと、1階と2階の写真が掲載されております。全体的に明るい雰囲気、開放的な仕切りのないスペースになっており、全体を見渡せる空間になっています。先ほどお伝えした配置図がこのようになっているということでございます。最後のページには全体の配置図がございすけれども、田町山の道路向かいに公用車車庫棟と第2駐車場があります。ここは主に職員の駐車スペースになります。角館庁舎に隣接して健康管理センター、角館交流センターも活用するわけですが、第1駐車場が市民の皆さん、来客される皆さんの駐車場になっております。

以上が新しい角館庁舎の案内と組織再編に伴う職員の配置等についての説明を終わります。

門脇市長

ありがとうございました。倉橋副市長から、資料に基づいて組織再編と庁舎の配置等について説明をいただきましたけれども、委員の皆さんからご意見をいただきたいと思います。建物自体としてのスケールというのはもう完成しておりますけれども、配置状況や手を加える部分、使い勝手等、今後も変更になることが十分考えられますし、そういうことも含めて皆さま方からご意見をいただければありがたいと思います。

安部教育長職務代理者からお願いします。

安部教育長職務代理者

倉橋副市長から、合併から15年経って組織再編ということで説明がありましたが、これまでの見直しを行い整理・統合して、より働きやすく、市民にサービスが行き届くような組織再編を行ったというお話をお聞きして、心強く思ったところです。直接的に教育委員会に関係のある部分について思いをお伝えしたいと思います。

私が思ってきたのは、門脇市長さんが小さな国際文化都市を目指すということをおっしゃっていたのを聞いて、こういうものは中々目で見えたかたちで現れるものではないのですが、事業としてどこでどういう事業をやってどう統合されているのか、私には見えにくい部分がたくさんありまして、今回再編の中で私が最初に提案を聞いた時には、文化財課が観光スポーツと統合されると。このほかについては意外な感じがしまして、誰でもそうだと思うのですが、今までのやり方ができなくなるのではないかという不安。文化財については教育委員会のテリトリーだという思い込み、教育委員会でなければできないであろうという思い込みというのもあって、意外に思ってあまり積極的に賛成する気持ちになれなかったというのが正直な気持ちです。その後倉橋副市長さんとお会いする機会がありまして、それと今のお話を伺いながら思ったのは、これまでの文化財課にも私も再三提言してきまして、できるだけ広くたくさんの仙北市全地域の文化財を育成していかなければいけないと再三申し上げてきたのですが、人が足りないとかこれまでの習わしとかあまり仕事に出してこなかったというのがあったのでしょうけれど、中々私の思いは届かなかったというのが正直なところでした。

今回そういう思いを払拭することができるような体制だな、そういうところを狙っているのだなということをお話をしてわかりました。この文化財課が、いわゆる各地域の文化というのが、それぞれの地域の人々、市民を繋ぐ大きな支えになっているものがたくさんあるわけですが、そういうものを広く大事にしていこうという姿勢が今こそ必要なのではないかと。そういう意味では、文化財課がその他の文化の部署と連携ができる状況になっているというふうに思っていて、私も現状が変わることへの恐れとか不安とかよりも、文化財課は文化財課の機能をもっと幅広く行おうとしてくださっているのだというふうに感じ取りまして、この組織再編に今

は諸手を挙げて賛成もしています。10月中旬頃でしたか、県の文化財保護審議会の方が新聞に、どちらかと言えば市長部局の方に文化財課が移管している傾向にあって、そういう方向に進んでいるというのも書かれてありまして、自分が狭い考えであつたなということを思ったところです。

今度は、文化財課も含めて全体的に仙北市の文化、行政が1箇所にとどめて、きちんと市全体としての方向性を持って動くことができる再編だというふうに感じて、本当に良かったなと思っているところです。以上です。

門脇市長

ありがとうございます。

橋本教育委員をお願いします。

橋本教育委員

角館庁舎が完成しました。今まで大変難儀されたと思いますけれども、これを機会に市民サービスの向上にますます努めていただきたいというふうに思います。

西木庁舎の方ですけれども、そちらの方に仙北東森林組合西木支所とか仙北市西木土地改良区、(一社)田沢湖・角館観光協会西木支部といった団体も一緒に入るようになったようですので、市民にとっては大変便利になるのではないかと思います。

組織再編についてお願いがありますけれども、文化財とスポーツに関することが市長部局に移管することになりましたので、市として文化財とスポーツを活用した特徴ある取り組みが今まで以上に活発に行われることを期待しております。

文化財について、国の方では文化財保護法の改正によって地域の祭とか郷土料理、書道、そういったものも無形の登録文化財として保護していくというような内容が報道されておりました。今回それにタイミング良くと言いますか、学芸員が採用されましたので、そういう部分で新たな文化財の発掘とか保存、今までの文化財、そういうものを広く市民、市内外の皆さ

んに広く公開、展示されるような取り組みも行っていただきたいというふうに思います。

市内の文化団体で高齢化、後継者不足ということで団体を維持していくのが大変厳しいといった声も聞かれますので、今度新しく文化創造課というのが設置されますので、そういった面についてもできるだけ支援やアドバイスをお願いしたいと思います。

スポーツについてですけれども、大規模な大会やイベント、市内外に仙北市を知らしめるということで大変重要なことですけれども、楽しみながら市民の健康を維持するという生涯スポーツの観点から、身近なスポーツの普及についても今までどおり十分な取り組みをお願いしたいというふうに思います。

組織再編を機会にますます仙北市が発展するようにお願いしたいというふうに思います。

門脇市長

ありがとうございます。

坂本教育委員、お願いします。

坂本教育委員

組織再編の意見の前に、先ほど一番初めに門脇市長と熊谷教育長からお話のありました、尾樽部こころさんの弁論ですとかドリハモ、プログラミングなど、本当に子どもたちの活躍に感心しております。それを市民の方に公開できる場というお話もありましたが、ぜひオンラインなどを活用して市のホームページに掲載していただくことができないかと思います。こういう時期ですから一堂に会するのではなく、興味のある方にどんどん見ていただきたいと思いますので、そういった取り組みもできないかと考えております。

組織再編に関してですが、やはり文化財課とスポーツ振興課が市長部局に移ることに関して、どこかモヤッとしたところもまだ全て100%吹っ切れているというわけではないという気持ちがあります。教育と文化、スポーツという

のは、分けて考えていかなければならないのはもちろんありますし、連携していかなければいけない面というのもあると思います。縦割り行政というものが何年も前から言われておりますが、仙北市は積極的に縦割り行政を取り払って、ほかの分野にもどんどん関与して、市民がよりわかりやすい行政をしていて欲しいと思っております。

また、中央公民館に関しては、私共のこれからの課題であると思うのですが、公民館活動をさらに充実させて市民と一緒にやって取り組んでいけるような公民館であって欲しいと思っています。以上です。

門脇市長                    ありがとうございます。  
                                 細川教育委員、お願いします

細川教育委員            まずは、新しい角館庁舎ということで、私まだ見ていないのですけれども、素晴らしい建物を建てていただきありがとうございます。

組織再編に関してなんですけれども、私個人的に文化とスポーツが一緒になるというのが、どういう意味でそうなるのかがまだはっきりとわからないのですけれど、これから組織で動いていく中で仙北市が今以上に盛り上がっていただければいいのかなと思っております。

西木庁舎のことに関しましても、より良く仕事や生活がしやすい環境を維持していけるようになっていただければいいのかなと思っております。

すみません。簡単ですけれど以上です。

門脇市長                    ありがとうございます。  
                                 熊谷教育長、お願いします。

熊谷教育長                この組織再編、観光文化スポーツ部は日本の全国的な流れで

ありますし、もちろん寂しい思いもありますけれど、これでもにかく頑張っていたきたいと思っているところであります。気になっている点が、皆さんおそらく文化財課、スポーツ振興課の人たちも言っていると思いますが、ものすごく財産が多いのです。廊下歩いてみるとわかると思いますが、部屋はほとんど文化財課とスポーツ振興課のものです。その財産について、スムーズにいくよう私も含めて工夫していきたいなと思います。

間取りについて、私いつも気にしていたのですけれども、観光文化スポーツ部が真ん中に配置されているのは、大変嬉しいです。農林部と建設部の間に配置されていることによって、観光文化スポーツ部が、特に文化財課とスポーツ振興課が周りとの連携しやすくなります。空間的にも近くになりますし、非常にこの配置が嬉しいです。見に行ってみて少し狭い感じがするのですけれども、連携や仲間づくりという意味でも私は良かったなと思っています。

もう1つは、文化財課の人の出入りが多いのですけれども、特に内町のお客さんが頻繁にいらっしゃるので、行きにくくなったと言わせないように、来やすいような雰囲気に対応していければと思っています。

ウィズコロナ、ポストコロナの時代にようやく仙北市も戦える体制が整ってきたなという感じでありまして、本当に期待しております。文化財課、スポーツ振興課が市長部局へ移りますが、私たち社会教育が観光、文化、スポーツに歩み寄って双方向で、子どもたちにいろんな活動に関わらせたいと思っているところがございます。以上です。

門脇市長

ありがとうございます。

色んな思いが皆さま方の中にあるかと思ひますし、それをご自身が理解しようという思いでお話されているということも伝わってきますし、そういう状況であるということも私たちも

十分に認識しているのですけれども、「たまたま」という言い方も適切ではないかと思えますけれども、まずコロナの時代になってしまったということです。これは色んな会議で言われていることなのですけれども、2～3年すればまた元へ戻るだろうと話をされる方が半分いらっしゃいますけれども、そうではないという、医学的にも科学的にもそうではないと。いくらウイルスに対する様々な薬が開発されたとしても、ウイルス自体も進化して変化していきますので、さらに新型がどんどん出てくるというような、歴史的にはあとは追いかけてこしかないという話です。いつでもパンデミックの状況が横にあると、そういう歴史的な付き合いが始まらなくてはいけない状況だというのが科学者の考えです。

子どもたちの学校生活もこれまでのあり方とは全く違う、質の違う、安全性の確保をしなければいけないというのは当然です。同じように市の組織も、たまたまというかこの状況で再編になるわけです。庁舎の建設というのは物理的な話ですので、庁舎は100年、200年もつものではないですけれども、人の営みは継続してこそ次の時代が開けますので、その今の私たちの生活をどのように支えていくかということに特化して、あとは時代に合わせて変化させていくということしかない。それに対して庁舎は成長していかなければいけないということです。今回の角館庁舎は「成長する庁舎」というふうに言わせてもらっています。あの庁舎には市長室はないです。この後色んな需要、ニーズが市民の中から沸き起こって、またさらに角館庁舎は変化していく、西木庁舎は変化していく、田沢湖庁舎も変化していく、その変化を間違わないで私たちは対応していくということしかないと思えます。

組織再編については、先ほど細川教育委員からもお話ありましたけれども、文化とスポーツと一緒にいるというふうにやっぱりどこか腑に落ちない、それも市長部局の方にあるから腑に落ちないということがよく実は言われていて、たぶん文化

団体の方々も相当、教育長を中心に皆さま方にも職員の方々にも色んなアドバイス、苦言があったと思います。この状況ですので、お客さま方をたくさんお迎えすることが困難だという状況がこの5年は続くという話がありますけれども、この5年間の間に文化を廃らせるわけにはいかない、文化こそが背骨だという考え方からいくと、たまたま組織再編の時期が重なったのですけれど、それをしっかりと守っていくアウトプットの仕方ですね。地域の方々が増えどころになっている文化財を守っていくということの力になるのは、今の文化庁の考え方とかは、外部の方々から目をしっかりと認識、感じなさいという話をよくされています。ということは、その文化財がどれだけ地域にとって重要だったかということ、地域の方々を理解していることはもちろんそうだけれども、それが大切な物だということ、を他の目に晒しなさいという話です。その晒し方ですけれども、これアウトプットの話なので地域の方々にわかりにくかったのですけれども、それをアウトプットしやすくするには観光という側面が一番仙北市の中では馴染みやすいセクションです。私たちは「守るために見せる」ということを徹底していくという方法で、もうすでに見えなくなっているものを掘り起こす手法というものを考えた時に、観光と文化になると思います。スポーツについて言うと、スポーツは地域スポーツももちろんそうですけれども、今経済スポーツ、ビジネススポーツの側面も切り離せない仙北市。需要がそういうことで、仙北市のフィールドを活用した国際大会、全国大会がたくさんあるものですから、それを経済的活動の1つに組み込むという考え方からいくと、やはり観光の側面を何とかして付加していくというような考え方も必要だったわけでありまして、決してこれまで教育委員会が行ってきたことを否定しているものではないわけです。熱い思いで今まで教育委員会の方々と一緒にやってきたスポーツ団体、文化団体の方々の思いは、本当にそこに異議を申し立てる方々もたくさん多かったと思いますけれど

ども、それも先ほど安部教育長職務代理者もお話しされましたとおり、守り継承し発展させていくという行為を、今の時代の流れの中で叶える最善の策の組織再編をさせていただいたというような思いでありますので、このあとも教育委員会とは連携をさらに密にしなければいけないと思いますので、教育委員会の皆さまにはぜひ支えていただけるようお願い申し上げたいと思います。

色んなお気持ち、思いもあると思いますので、まずスタートしてみようということでご理解いただきたいと思います。

何か付け加えてお話しされたいことがあればお願いします。

安部教育長職務代理者 門脇市長 よろしいですか。もう1つ伝えておきたいことがあります。  
はい。

安部教育長職務代理者 15年経って整理、統合され組織再編、それはよくわかるし、同時に組織再編によって整理、統合され過ぎて、先ほど坂本教育委員が縦割り行政のお話をされましたが、整理、統合するために境目があまりにもはっきりしてくると、協調し合う部分が足りなくなるのかなと。熊谷教育長がお話されましたように、教育委員会としての学校教育と文化行政とが協力し合えるように、ある程度組織の区画をファジーに考えて良いのではないかと。そうしないと協力し合ったり組織同士でつくり合ったりという部分が、もしかしたら中々しにくい部分もあるのかなと思いました。組織再編をして整理、統合されたのは良いのですが、同時に相手とファジーな気持ちで接するという心構え、そういう部分も必要なのではないかなと今ちょっと思ったところでした。

門脇市長 よく自分たちも実は取り込みたい、そこにタッチしたいファジー化の話を安部教育長職務代理者にお話ししてもらって嬉

しい思いがあります。ファジーにはなるけども責任の所在ははっきりする、そこが中々難しいところです。壁をつくらずに、というところはずっとこの後も追い求めていかなければいけないなという思いです。

安部教育長職務代理者 横並びになって、お互いに協力し合う体制は良いと思うのだけれども、そこにある程度遊びというか余裕を持ったところが必要だと思ったところでした。

門脇市長 特に文化財の関係でいくと、今まで関連が実はあったけれども連携が上手くいかなかったとか、建設セクションとか農林セクションとかそういうところとは、非常に密接な関係が深まっていくのかなと期待はしています。

他に何かありますか。坂本教育委員はどうですか。

坂本教育委員 特にないのですが、個人的には教育委員会の場所が少し遠くなるので、移動に気を付けたいと思います。

門脇市長 それはありますね。  
細川教育委員は何かありますか。

細川教育委員 駐車スペースに困らなくて良かったと思います。

門脇市長 朝に倉橋副市長と話した時にその話になって、角館庁舎の駐車スペースがなくてお客さんをお迎えするのに懸念される部分でした。実は自分の中で1番この数年間でホッとしていることは、いつグラツときて潰れてしまっ、ここにいる職員、お迎えしているお客さま方を、万が一亡くならせしてしまう事案がいつ起きるか本当に懸念しておりました。やっと引き渡しが終わって耐震ができて本当に良かったなということが1つと、駐車場ができるということが1つです。教育委員会の方々も公

民館の方々も西木の広い駐車スペースがありますし、総務部、議会事務局等は田沢湖庁舎の広い駐車場があります。これで3庁舎同時に十分な駐車スペースが確保できたことが1番良かったのではないかというのはよく耳にさせてもらっています。ありがとうございます。

事務局の方から何かありますでしょうか。何か追加でご説明させていただくことはないでしょうか。

佐藤教育部長 私の方からよろしいでしょうか。

門脇市長 お願いします。

佐藤教育部長 教育委員会関連の補足をさせていただきますけれども、平福記念美術館は、これまで文化財課の所管でありました。しかしながら、美術館は社会教育施設でもありますので、生涯学習課の所管として教育委員会にそのまま残りますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

教育委員会自体としまして、学校教育課が新設になる一方で、この組織再編に伴う中央公民館構想が大きい再編の1つでしたので、この中央公民館の構想を何とか成功させたいという思ひで、すでに職員的意思疎通を図っております。例えば、公民館費の予算はそれぞれの地区で予算要求していたわけですが、公民館費は1本ですから、すでに3地区の職員が一斉に集まって予算編成業務をしている状況であります。先ほどから出ておりますように組織がどう変わっても、教育委員会、市長部局との連携は切っても切れない関係だと思ひますので、私たち職員もそのような方向でベクトルを合わせながら、意思疎通を図っていきたく思っております。

門脇市長 ありがとうございます。

佐藤教育部長からお話があったとおり、公民館の力＝市民力

ですので、教育長をはじめ教育委員の皆さまには、公民館活動が今後大きな花を開けるようなご支援をお願いしたいと思います。それが市民の力、市の力になっていくことは間違いないことですので、職員の皆さんにもよろしくお願いします。

協議案件についてはこれで終了になります。

次第5のその他ですけれども、何かありますでしょうか。

安部教育長職務代理者 門脇市長 はい。  
お願いします。

安部教育長職務代理者 これは前回の教育委員会定例会で教育委員の皆さんと協議をして、教育委員会の意思として総合教育会議で伝えてもよろしいと了解を得た話です。

この間、河正雄さんから絵の寄贈をできる時に、収蔵庫が足りないということで、対応した美術館館長さんが大変に苦慮されまして、総合情報センターの一部をお借りして収納するという事になってはいますけれども、しかし、これからもそうした様々な寄贈される作品、美術に関しての作品があると思います。そうした場合、収蔵庫がないのでお断りするという事態は、何がなんでも避けなければいけないであろうと。ただ、今すぐ美術館に収蔵庫をつくるということは非常に難しいと思います。そうしたところ、旧市立角館総合病院に公文書センターをつくるお話があり、その時に収蔵庫もつくってくださるのではないかという話も伺っていますけれども、貴重な作品がこれからもくると思うので、そのへんは門脇市長から明確にさせていただきたいと思います。

また、美術館について、珍しい物を預かって時々見せるという、それだけではなくて、美術館の持つ教育的機能、たくさんの国外の方も来ますし、そういう方々に積極的に紹介できるような機能も今後考えて欲しいと思っております。

とりあえずは収納庫について、現在わかっている構想があったら教えて欲しいです。教育委員会としては、ぜひ収蔵庫をつくって欲しいという要望がありましたのでお伝えします。

門脇市長

ありがとうございます。

この前の議会の皆さまとの全員協議会で、仙北市、今考えている構想の1つとして、仙北市公文書センターを何とか実現したいというお話はさせていただきました。これは安部教育長職務代理者のお話のとおり、旧市立角館総合病院の管理棟、これはまだ新しい部類の方に入っている管理棟で、耐震力も法律が改正となった後にできていますので、この点についてはよろしいという状況もあって、これを活用できないかというのが基本的なデザインです。その中には、当然文書は紙ですので、紙の劣化をできる限り進めさせないということで、空調や湿気、温度、耐火というような収蔵スペースも持ちたいというお話はさせてもらっています。それが文書に限らず、安部教育長職務代理者がお話されたように、美術作品であることと、どのような相違があるのかという話も後で少し勉強しなければいけませんけれども、一応ハード的にはそういう話をしていて、それは今できれば来年度の予算に設計は計上したいという話はさせてもらっています。

すでに各地区、倉庫に21、2万冊の簿冊が分散していて、雨漏りもあるし色々なことがあるので、そういうところから早く書類を救出して保管するということが必要だと思っています。ただ、議員の方々からは色々なご意見がありました。その収蔵に対して、美術作品の収蔵が今の状況でできるのか、これはもう少ししっかりと教育委員会としての法的なご発言だったと思いますので、私の方でもしっかり調査することになると思います。

美術館は今、無料でというかこの状況なのでということもあるのですけれども、たくさんの皆さまから入っていただき、例

えば作品展がとても良かったとすると、お客さまの数がすごく増えていくということがわかって、それが市外からもたくさん来ていただいていることを大変嬉しく思います。

熊谷教育長

山田美知男さんの山田美知男展ですけれども、大変好評でして11月15日まで会期を延長しました。おそらく5,000人近くになっていると思います。大変素晴らしい作品です。

門脇市長

美術館があって、しかも「生きている美術館」だという言い方をよくされているみたいですがけれども、平福記念美術館は生きている美術館だなというのも聞いているし、そういうところをもっと見やすくするには、どのようにすればできるのかという話はやはり重要だと思います。これはしっかりと重要なお提言、ご提案だと思いますので、受け止めて協議を続けていくというようにしたいと思います。

ありがとうございます。他にはないでしょうか。

橋本教育委員

自転車の利用者に任意保険に加入しましょう、という市民条例を制定したらいかがでしょうかということですがけれども、万が一事故が起きた場合、事故内容によっては多額の賠償を求められるケースもあるということで、保険に加入することでそういったことが解消されれば、お互いに救済に繋がるのではないかと思います。これについて、秋田県の方でも検討を始めたということは新聞で報道されていましたがけれども、仙北市では県外の方から観光客が大勢訪れて、特に角館周辺では歩いて観光している方が大勢おりますので、そういった観光客の対応、あるいは小・中学生、高校生、市民、そういった方々が万が一事故にあった、事故を起こした時、賠償とかそういった面でも助かるのではないかなということで考えてみました。特にコメントはいらないのですが、県は県として制定すると思うのですがけれども、より身近な市が条例を制定することによって、

やはりもう1つ市民への意識の強さが違うのではないかと思  
ったところです。

門脇市長           なるほど。子どもたちは学校とかで保険に入っていたでしょ  
うか。

三浦教育次長       中学生がかなり自転車通学していますので、中学校に入学の  
段階で任意保険の加入を勧めて、相当数が入っていると思いま  
すけれども、小学生はまだそこまで勧めてはいない状況だと思  
います。

門脇市長           なるほど。これは学生に限らずお年寄りもですね。心配な人  
たちをよく見かけます。そういう方々に対しても、これは決し  
て強制ではないけれども、それが今後の保険とか対応とかで誠  
意のある対応ができるという1つの方法ではないかというこ  
とですね。今日は総務部長もおりますので、総務部長の方でも  
検討したいと思います。

大山総務部長       はい。

門脇市長           他に皆さんから何かないでしょうか。  
三浦教育次長から何かないでしょうか。

三浦教育次長       今年度はコロナ禍で、各学校の修学旅行についてどのよう  
にするべきなのか、修学旅行のあり方で非常に難儀しました。お  
陰様で先月、全ての小学校で修学旅行を終えまして、戻って来  
て2週間過ぎまして、発熱もなく今安心しているところなので  
すけれども、教育委員会のガイドラインとして、できるだけ一  
般の方々と接触しないようにということで、移動は貸し切りバ  
スが望ましいという方向性も出したわけなのですけれども、人  
数が極端に少ない学校についてはできないわけでありまして、

例年であれば、小学校は仙台方面なのですけれども、仙台だと公共の交通機関も充実していますので、今まで移動にまったく困ったことがなかったのですけれども、今回こういう状況で行き先を変えて、公共の交通機関だけを利用して修学旅行を行う、非常にフットワークが悪かったという声が聞こえてきております。そういった時に、経費的な問題で貸し切りバスを貸し切ってしまうということも難しいので、経費的な面での手立てや、市のバスや公用車を弾力的に運用できればいいなという声が、小学校の校長先生方から若干聞こえてきましたので、今後の検討材料にしていきたいと思っております。

門脇市長                    はい。これは十分な検討が必要だと思います。あとで教育委員会と一緒に検討しましょう。

朝水教育次長兼教育総務課長からは何かないでしょうか。

朝水教育次長兼教育総務課長                    現在の事業としては、G I G Aスクールに向けて準備しているところですが、実証実験の関係で来月早々角館小学校のP T Aが開かれるということでしたので、そちらの方へ行って協力をお願いをして進めていきたいと考えております。こういうコロナ禍ですので、今後どうなるかはわかりませんが、できる範囲でG I G Aスクールを進めていきたいと思っております。

学生ふるさと応援につきましては、第2回目までを送付させていただいて、好評をいただき、お礼状を送ってくれた学生さんもおりました。第3回目につきましては、12月の始め頃を目途に準備しております。

門脇市長                    ありがとうございます。藤村総務課長からお願いします。

藤村総務課長                    職員の資質向上に向けて、研修の方を充実させていきたいと思っております。

佐藤教育部長 門脇市長、少しよろしいでしょうか。

門脇市長 はい。

佐藤教育部長 総合教育会議の主旨とは少し違うかも知れませんが、実は、冒頭で市長がおっしゃったように、今回角館小学校のドリームハーモニーの全国大会出場が決まりました。この会議のちょっと前に角館小学校の校長先生から電話がありまして、本来であれば、全国大会は埼玉のアリーナ等で開催されるのですが、このような状況のためビデオ審査で行うということになりました。先生方の思いとすれば、会場の広いところでビデオを撮っていただいて、子どもたちのために全力を尽くしたいというご相談がありました。私共も当然そのとおりでと思います。これについて、当然お金もかかってくることで、現在の、選手派遣費等不用額を振替え、最終的には3月の段階で補正しますけれども、どうか全国大会へ出場する仙北市代表のドリームハーモニーの児童のために、派遣費をぜひ使用させていただきたいと思っておりますので、ご判断をお願いできればと思います。

門脇市長 当然、応援していきたいという気持ちは皆さん同じだと思います。あとは財政業務の中で損がないように行えれば良いと思います。

佐藤教育部長 何とかご理解をお願いいたします。

門脇市長 他にありますか。

倉橋副市長 今年度から西木地区のこども園2つがはなさき仙北の方に移譲されまして、特段問題もなく順調に進んでおります。残る

のは角館地区の4つのこども園、保育園です。これをどうするかということで、今年度角館地区の保育園のあり方検討会というのを行ってございまして、実は4回目が今日なのですけれども今日提言をまとめることになってございまして。方向性としては、角館こども園を令和4年度からはなさき仙北の方へ移譲する方向で意見がまとまる予定になってございまして。残る3園なのですけれども、出生者数が著しい減少が続いてございまして、この状況を見ないと、残る3園についてどのようにするのか結論を出せない状況になってございまして。令和4年度に角館こども園をはなさき仙北の方に移譲しますけれども、残りの3園は、何年か様子を見なければならぬというふうに思っております。ただ、3園とも施設の老朽化が進んでございまして、いつまでも現状のまま運営していくのもかなり困難になってございまして、いずれは角館こども園の方に統合されていくのではないかと思っておりますけれども、どこの園を何年に角館こども園に統合されるのかは今の段階では結論が出ておりませんので、ちょっと時間がかかるのかなと思っております。

市の正職員の保育士さんたちもまだかなりおりますので、その方々の働く場所をなくすわけにはいきませんし、身分を変えるわけにもいきませんので、そうしたことも勘案しながら今後も検討していきたいと思っております。

いずれ今日、最後の検討会で一定の提言をいただくことにしております。以上です。

門脇市長

角館中学校と恵文高級中学のリモート国際交流が11月26日、生保内中学校と北投国民中学が12月21日ということで、こういう状況であるけれど国際交流はできるということ、これには色々な意味があつて、こういう時代だからこそという意味もあるし別の意味合いもありますので、ぜひ教育委員会の方々と市長部局の方々も連携して、上手く皆さま方に感動が起こるようにプロデュースをよろしくお願いしたいと思います。

他になければこれで終わりたいと思います。ありがとうございました。  
いました。

大山総務部長 様々のご意見をいただき、ありがとうございました。  
それではこれを持ちまして、令和2年度第2回仙北市総合  
教育会議を終了いたします。おつかれさまでした。

(午前11時20分終了)

上記会議録に相違ないことを認め署名する。

仙北市長

仙北市教育委員会教育長

仙北市教育委員会教育長職務代理者